



830号  
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2  
日港福会館 5階  
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
メール rouren@kensu.jp  
ホームページ http://www.kensu.jp/  
全国検数労働組合連合  
書記局



## 第4回中央港湾団交開催に向けた事務折衝で、 26港湾春闘回答促進を図るべく実力行使を通告

4月2日(木)新橋港運會館で第4回中央港湾団交の開催に向けた事務折衝を開催し、組合は26春闘の争点である『産別最賃の回答』『福利分担金の引き上げ』についての修正回答、安全問題、労働時間短縮の課題など26春闘要求全般への大幅な修正回答を求めました。

日港協の折衝時点での回答は『部分的な修正案は持っているものの、現段階では組合の主張を検討するつもりが答えられない』という内容でした。

組合は、第4回中央港湾団交の開催を準備し、その場で大幅な修正回答を行うよう強く主張し、26春闘要求への前進ある回答促進を図るべく、4月2日付けにて実力行使を通告しました。

日港協は折衝で披歴された組合の考え方を踏まえ、回答を検討し、4月9日(木)に第4回中央港湾団交を開催することを申し入れるとし、組合はこれを了承しました。

**4月9日(木)開催の中央港湾団交に要注目!**

### 26春闘中央港湾団交 回答促進のための実力行使の通告(要旨)

第3回中央港湾団交(3月26日開催)における、26港湾春闘要求に対する真意回答を不満とし、第4回中央港湾団交での回答を促進するために下記のストライキ行動を実施することを通告します。

この本行動は、全日本港湾運輸労働組合同盟と連携した行動であることを付言します。

#### 記

1. 実力行使の内容について
  - (1) 実施日時 2026年4月13日(月)以降無期限の夜荷役拒否 18:00より翌日の始業時まで(土・日を含む)
  - (2) 行動対象 全港・全職種  
ただし、以下については対象外とする。
    - ① 東北地方沖地震からの復旧・復興の最中にある八戸港
    - ② 生活航路(離島航路)
    - ③ 備蓄石油の放出に係る荷役
  - (3) 行動内容 就労拒否並びに荷役阻止、及び抜港船などスト破り行為への抗議行動
2. また、26春闘要求に係る今後の回答如何によっては、上記行動以降の上積みの実力行使もあることを付言します。
3. なお、本通告に基づく争議行為中であっても、団体交渉に応じる用意のある旨を申し添えます。 以上

## 横浜検数労連 26春闘オルグ開催♪

3月11日(水)横浜波止場会館1階会議室で、横浜検数労連26春闘オルグを開催し、オルグナイザーとして中央から高木書記長と石渡書記次長が参加しました。

春闘オルグの内容として、高木書記長からは『26検数春闘の取り組みについて』というテーマで26春闘を取り巻く世間的な情勢、特に賃上げが生活水準の改善に繋がっていない状況が続いていることや昨今の春闘の特徴的な場面として春闘時の賃上げに政治介入がされても中小企業にまで波及させていない実態などに触れながら、26検数春闘での5つの柱①諸物価高騰から暮らしを守るために大幅賃上げ、底上げを目指す②職場要求の前進を目指す③産別政策課題の前進を目指す④組織の強化拡大を目指す⑤国民的諸課題を前進させるといった方針を掲げてたたく決意と団結を呼びかけました。



次回交渉  
第6回 検数労連26春闘交渉  
4月10日(金)開催で調整中・・・  
4月9日(木)開催の第4回26春闘  
中央港湾団交同様、要注目♪

石渡書記次長からは『港湾産別春闘との検数春闘のかかり』というテーマで、日本と米国の港湾労働者の賃金の違いや26港湾春闘の動向と主要争点、全国港湾の運動で勝ち取ってきた要求が検数労働者にどのような恩恵を与えているのかなどといった説明をしながら港湾産別への結果を呼びかけました。

参加者からは昨今の物価上昇やガソリン価格の急騰によって生活苦が増している実態と、安心して働くためにも今春闘では5桁回答は必ずであるといった訴えや検数両協会が携わっている放射線測定業務の今後の動向などの質問がされるなど、充実した横浜検数労連オルグとなりました。